

園長室だより (さむたいむず)

令和7年9月30日第5号 大阪市立桃園幼稚園

「暑さ寒さも彼岸まで」といいますが、秋分の日を過ぎてから、一気に秋を感じられるようになってきました。子どもたちは、9月4週目からようやく園庭に出て活動できるようになり、運動会に向けて取り組んでいます。

運動会への取り組みや活動は、これまでの遊びを披露する場です。「できるようになった」や「見栄え」ではなく、それまでの過程がとても大切だと捉えています。

例えば、年長児のリレーでは、「どうやってリレーのチームを分けるのか。」また、「走る順番をどうするのか。」は子どもたち同士で相談して決めます。相談し、考えたのに、それでも負けると、泣いて悔しがり、しばらく立ち直れない姿もあり、友達を励まし、また考え、相談する。その繰り返しの活動こそが大切で、子どもたちの心を大きく成長させます。もちろん運動会の当日は、勝敗があり、また悔しい気持ちになるかもしれません。そしたら、また、運動会の次の日にリレーをすればいいのです。そう考えると、運動会はただの通過点だという意味をよく分かっていただけだと思います。

また4歳児は、自身が経験する初めての運動会です。「これが運動会か！」と当日に気付くでしょう。そして運動会が終わったら、「き組みみたいにバルーンがやりたい!」「リレーしてみたい!」と年長児へ憧れ、「やってみたい!」となります。その姿が来年度につながります。

「できるようになった」ことばかりではなく、それまでの過程や背景を想像していただくと、倍以上の感動があると思います。運動会は通過点です。

今月は、運動会までの姿を中心に、園外保育など紹介いたします。園外保育の大阪市立科学館の経験が運動会にもつながっています。



8月・9月前半は、暑いので、プレイルームで活動していました。



プレイルームでは、きれいに出来ていたパラバルーンも、風のある戸外の環境では、潰れてしまうバルーン…。

みんなの力を同じぐらいの加減で、しかもしっかり引っ張らないとうまくいきません。

見守る4歳児…。応援の気持ちとやってみたい気持ちと憧れの気持ちと…。



4歳児のリズム遊びでは、ボールを投げたり、這ったり、バランスをとったり、跳ねたりと、様々な動きを楽しんでいます。経験する度に投げるのが上手になっていたり、バランス遊びもスピード感があったり、運動を遊びとして楽しんでいる4歳児です。



5歳児のリレーはどうしても応援に熱が入ってしまい、写真を撮り忘れてしまいます。リズム遊びの一部を紹介します。

園外保育で大阪市立科学館へ4歳児・5歳児が行ってきました。プラネタリウムでたくさんの星座を見ました。“夏の大三角”“わし座”などギリシャ神話も交えてのお話に子どもたちは、聞き入っていました。また、「お月様が上がっていくところ初めて見た～」など月の動きや満月から三日月までの形にも、興味深く見ていました。今回、その経験をリズム遊びで表現しています。



大阪市立科学館へ手をつないで、電車に乗って行き、貴重な経験をしました。公共の場では、ルールを守ることも園外保育の活動のねらいの一つです。電車に静かに乗ること、また、道路を歩く時、道路側を5歳児が歩き、4歳児を守ることなど、たくさんの学びがあります。5歳児が4歳児の手をつないで一生懸命引っ張る姿はとても頼もしく、また、4歳児も重いリュックを背負い、駅の階段を頑張って上っている姿は、健気で…。

先生たちは子どもたちを励ましなが、経験したことの感動や気づきを察知して、共感したり、一緒に感動したりします。また楽しい園外保育となるよう、そして何より、安全に帰ってこられるように集中します。



2学期の充実した時期に園外保育や運動会、地域とのかかわりなどたくさんの経験をします。一つ一つの経験が深い学びになるよう、感じたことを絵で表現したり、体で表現したり、様々な表現をして、生きたものになるように考え、取り組みます。その一つが運動会です。4歳児は初めての運動会で、たくさんの方に見ていただくことに萎縮するかもしれません。5歳児は、恥ずかしい気持ちも芽生え、思ったように表現できない姿があるかもしれませんし、勝負に負けて悔しくて泣いてしまうこともあるかもしれません。それは、全て子どもたちの成長の過程であり、かけがえのない、ありのままの姿です。時にはビデオを置き、盛大な拍手を送ってあげてください！拍手の大きさや雰囲気子どもたちは自信につなげ、次への一歩になります。